

令和7年度 第1回学校運営協議会議事録

日時：令和7年6月7日（土）14:00～16:00

場所：大阪府立茨木高等学校 校長室

出席者：【学校運営協議会委員】

添田委員、白鳥委員、柴田委員、中村委員、檜本委員、内田委員

【校長・事務局】

高江洲校長、瀬戸教頭、藤山事務長、森（登）首席、森（佳）首席、林教務主任、
谷口進路指導主事

＜質疑応答及び提言＞

課題研究について

委員：課題研究のレベルが高い。生徒が、ふとした気づきから課題を深く掘り下げて研究し、その成果を学会で発表することは、素晴らしい取り組みだと思う。

Beyond*i* in Singapore について

委員：企画運営に生徒はどの程度関わっているのか？

事務局：基本的な企画運営は教員が行っている。ただ、プログラムにどのような内容を追加したいかについて、事前研修において生徒どうしでディスカッションを行い、追加プログラムを決定した。

委員：大変意義ある行事だと思う。生徒の定員が30名となっているが、もっと定員を増やすことができないか？

事務局：来日する外国人の増加に伴い、航空券を予約することが難しくなっている。定員を増やせるのであれば増やしたいが、容易ではない。

委員：参加者を選抜して決定しているとのことだが、選抜されなかった生徒をフォローしてあげてほしい。

事務局：プログラム参加者の代表生徒が自身の学びについて、全校生徒に対してプレゼンテーションを行う「学びの報告会」を実施している。

クラブ予算の配分について

委員：年間のクラブ予算について、例えば生徒が事務長と意見交流する場を設け、それに基づき年間予算が決定され、生徒自ら部活動の運営をできるような仕組みをつくることができないだろうか。

事務局：貴重なご意見ありがとうございます。今後検討してまいります。

保護者への情報共有について

委員：茨木高校の行事は意義深いと思う。保護者にとっても、子どもの成長のために自分

ができることは、できるだけ力になりたいと思っているはず。行事の参加者募集開始などの情報を保護者にも共有してもらうことは可能か。

事務局：昨年度実施の東京スタディーツアー参加者 13 名のうち 3 名が保護者から背中を押してもらって参加を決めたということを聞いている。その意味でも学校と保護者が連携して行事に取り組んでいくことが重要である。一方で本校では生徒に自主自律の精神を育むことを教育目標としている。行事も含め様々なイベントの案内を掲示板に掲示しており、生徒が自分にとって必要だと考える情報を自ら取りに行くことができる姿勢も醸成していきたいと考えている。保護者との連携・自主自律の精神の育成の両立を図っていきたい。

発達支持的生徒指導について

委員：自身が茨木高校に生徒として在籍していたとき、高校 1 年時に挫折を経験した。その挫折を乗り越えられたのは友人のおかげであったように思う。今も同じように悩みを抱えている生徒がいるのではないか。そのような生徒をフォローできる仕組みはどのようなものか。

事務局：本校では、自ら規律を定め、自らの意思で行動を律しながら学生生活を送り、さまざまな行事を創りあげることができるような生徒の育成を教育目標の 1 つにしており、教職員から生徒への挨拶、声かけ、励まし、賞賛などの働きかけを、日々の授業や行事等を通して行っている。これからも生徒が様々な経験を通して、よりよい人間関係をつくることができるよう、発達支持的生徒指導の観点から生徒の成長に寄り添っていきたい。

委員：茨木高校では文系と理系の生徒が混合したクラス編成となっている。このことにより「今日の授業で学んだこと」などを同じクラスの中で話し合うことが日常的にあった。3 年間で築き上げた様々な繋がりが現在の自分の礎となっている。茨木高校の良さをたくさんの人に知ってほしい。

その他

学校特色枠の設定等について